2 指導の重点

(1) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

一人一人に分かる、できる喜びを味わわせながら学力向上を目指し、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。その際、個に応じた指導を充実するために、つまずきやすい単元の検証と分析による授業改善を行う。数学科及び英語科では、指導方法工夫改善加配教員を活用した少人数習熟度別指導を展開し、きめ細やかな指導を徹底する。清瀬市教育の情報化推進計画の下、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、一人1台タブレット端末の有効活用を促進する。

東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査に関する調査等における課題に着目して、学習集団の構成や編制を工夫し、健康の保持、体力向上の実践に努める。

体験的な学習活動を意図的に設定し生徒の意欲を喚起した指導を重視する。また学校図書館経営計画に基づき、学校図書館を利活用し、教科等横断的な視点に立った探究的な学習活動に取り組む。

イ 道徳科

人としての生き方の自覚を促し、道徳性を養うために、保護者や地域住民をはじめとした多様な人々との協働による学習活動を行う。その際、道徳科の指導内容が、いじめの未然防止・早期発見等の日常生活におけるいじめ問題の対応に生かされるようにする。授業では「生徒が自ら問題を見つけ、解決する」学びになるよう、指導方法を工夫し「考え、議論する道徳」を実践する。また道徳教育推進教師を中心に担任と副担任が協力した授業を実践するとともに、保護者・地域と連携した道徳授業地区公開講座の実施により、道徳的な判断力や態度を育成するとともに道徳的価値の理解を深める。

ウ 総合的な学習の時間

「デジタル技術を一層活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現」と「豊かな体験活動の充実」を融合した自然体験や職場体験、修学旅行等を柔軟に計画し実践する。その際、自己・社会・世界とのふれあいを基盤にした3年間を通じたキャリア発達を支援する教育活動を行う。特に「ふるさと清瀬」を意識した地域社会に関すること、東京2020レガシーを受け継いだ国際理解に関すること、人の暮らしに欠かせない福祉・健康に関することについて考えさせることに重視して生徒の学習課題を高め、主体的に判断し、課題を解決する能力や態度を育てる。

キャリア教育の視点から体験的な学習活動を体系化し、キャリア・パスポートを用いた指導を推進する。また「図書館を使った調べる学習コンクール」「新聞を活用した教育活動(NIE)」への取組を通じて、学校図書館及び地域図書館等の資料や新聞社から複数紙配備された新聞を積極的に活用し、多様な見方や考え方、論理的思考力を育成する。

＜第1学年＞	＜第2学年＞	＜第3学年＞
“自己への理解”	“社会への理解”	“自己と社会との関わりへの理解”
「清瀬」とのかかわり 身近な職業とのかかわり	「東京」とのかかわり 職業体験を通して	「日本と世界」とのかかわり 進路選択を通して

エ 特別活動

運動会や音楽祭などの学校行事を通して、日常の学習活動の成果を発表するとともに、運動や文化に親しむ態度を育成する。また全校や学年の生徒で協力して行う体験的な活動を通して、学校や社会への所属意識や多様な他者を尊重しながら協働する連帯感を養う。

生徒会活動や地域と連携したボランティア活動においては、活動の範囲が学校内外の広範囲になり、地域社会における大人との人間関係や社会的なルールやマナーを学び、自分たちの活動の広がりや自主的な活動の必要性があることを実感できる取組を行う。